

FIS コンチネンタルカップスキージャンプ(女子)ルール

凡例：COCJ-L=コンチネンタルカップスキージャンプ(女子)

1 大会地のエントリー、指名及び日程(カレンダー計画)

1.1 コンチネンタルカップスキージャンプ(女子)

- 1.1.1 各スキー連盟は、決められた期限内にカレンダー計画小委員会へCOCJ-L大会(個人戦)の申請をする権利を有する。
- 1.1.2 大会の申請は、大会の2年前に公式のFISエントリー用紙で行なわれなければならない。
- 1.1.3 同日にCOCJ-L大会1試合のみを開催することが出来る。
- 1.1.4 各シーズン最後のCOCJ-L大会が、COCJ-Lファイナルとして行なわれる。COCJ-Lファイナルと関連して、COCJ-L総合表彰式が行なわれる。

1.2 COCJ-L大会地の指名

- 1.2.1 カレンダー計画小委員会は、以下を検討する。
 - 有効なジャンプ台公認証を有し、COCJ-L大会として当該ジャンプ台が適しているか。
 - 宿泊能力及び競技場の観客アピール度。
 - 競技組織の基準。
 - COCJ-L大会に使用するジャンプ台の大きさは、ノーマルヒルを上限とする。
- 1.2.2 この評価結果と提案日程により、カレンダー計画小委員会は今後2年間の暫定COCJ-L大会スケジュールを作成する。現シーズンの最終的なCOCJ-L大会カレンダーは、FIS理事会の承認が必要である。

2 COCJ-L大会参加権利

- 2.1 FISコード所有選手のみエントリーすることを認める。
- 2.2 各国スキー連盟は、COCJ-L大会1試合に最大10名のジャンパーをエントリー出来る。

- 2.3 各国スキー連盟は、自国選手の COCJ 大会出場選手としての適性及び使用ジャンプ台を扱う能力に対し全ての責任を持つ。
- 2.4 ホスト国は、ナショナルグループ 10 名（グループ 1）を追加としてエントリーする権利を有する。
- 2.5 1 カ国において 2 試合を超える COCJ-L 大会が行なわれる場合、ホスト国はナショナルグループをシリーズごと（サマー-COCJ-L 又はウインター-COCJ-L）最大 2 試合までエントリーする権利を有する。合計で 4 試合以内とする。

3 COCJ-L 評価（点数配分）

3.1 個人戦

1位	100点	11位	24点	21位	10点
2位	80点	12位	22点	22位	9点
3位	60点	13位	20点	23位	8点
4位	50点	14位	18点	24位	7点
5位	45点	15位	16点	25位	6点
6位	40点	16位	15点	26位	5点
7位	36点	17位	14点	27位	4点
8位	32点	18位	13点	28位	3点
9位	29点	19位	12点	29位	2点
10位	26点	20位	11点	30位	1点

- 3.1.1 同得点者が複数の場合、各選手には、その順位に応じるポイントが与えられる。（次の順位は省略される。）
- 3.1.2 COCJ - L 評価（ポイント対象）の大会とみなされる為には、最低 5 ヶ国が参加しなければならない。
- 3.1.3 コンチネンタルカップスタンディング
現シーズンの全個人戦での COCJ - L ポイントは、COCJ - L 総合優勝者を決めるにあたり合計される。
COCJ - L スタンディングで複数同得点であれば、各大会の良い順位がランキングを決める為に使われる。それでも同順位であれば、スタート順は、抽選となる。

4 競技方法及びスタート順

COCJ-L 大会は、ICR452 条（個人戦及び団体戦）に従い、以下の項目も含め実行されなければならない。

4.1 個人戦において、選手を3つのグループに分ける。グループの順番は以下とする。

グループ1	ホスト国
グループ2	(COCJ-L ポイントがない選手)
グループ3	(COCJ-L ポイントがある選手)

グループ内のスタート順は以下とする。

グループ1	ドロー又はシード
グループ2	ドロー
グループ3	現在の COCJ-L ランキングの逆順。COCJ-L スタンディングに入り次第、ランキングに沿ってグループ3にシードされる。そのシーズンの最初の大会は、昨シーズンの最終COCJ-Lスタンディングにより決められる。

4.2 2本目(最終ラウンド)において、1本目の上位30人のみが2本目にすすめる(プラス最終予選通過順位同点者)。選手は1本目と同じゼッケンを着用し、1本目の獲得得点の逆順でスタートする。
最長不倒の95%に達し予選通過すべきところ、転倒した選手は上位30人に加えて競技に参加する権利がある。

4.3 2本目は、1本目終了後20分以内で始めなければならない。時間通りにスタート出来ない選手は、失格となる。

5 COCJ-L-賞

5.1 COCJ-L 総合優勝者は、コンチネンタルカップトロフィーをもらう。上位3選手にはFISメダルを与える。

上記のトロフィー、メダルは、FISが用意する。

トロフィー及びメダルは、ファイナル(最終戦)でのみ授与される。

6 COCJ-L費用の支払い

6.1 全COCJ-Lオーガナイザーは、各参加国につき最大5名(4+1)に対する宿泊費用を負担しなければならない。

6.1.1 宿泊

大会期間中すなわち最初の公式練習の前日から最終競技日の翌日まで、上質のホテルで部屋と3食を提供する。招待状及びインフォメーションパックが、組織委員会から各スキー連盟に送られなければならない。参加チームは、表記された期限までに参加選手をエントリーしなければならない。それによりそれ

それぞれが望む部屋数の予約が確定となる。

予約した部屋を使用しなかった場合、組織委員会は、そのスキー連盟に対しキャンセル料金を請求する権利をもつ。

組織委員会又はホテルマネージャーは、チームキャプテンの同意なしに、大会日に部屋を明け渡すことを要求することは、認められない。

- 6.2 TD、TDアシスタント及び外国人飛型審判への旅費、宿泊費の支払いは、ICR405.4条に従って支払われなければならない。

7 COCJ-L スポンサー

- 7.1 FIS は、コンチネンタルカップスポンサーのスポンサー権に対してFISとスポンサー会社/代理店との間で契約を結ぶ事が出来る。

8 COCJ-L コントロール及びレポート

- 8.1 各COCJ オーガナイザーは、シーズン前に自国のプレスに日程を知らせ、大会終了後直ちにそのプレスが、結果表又は最低でもランキングリストを配信することを、確認しなければならない。

- 8.2 国際スキージャーナリスト連盟 (AIPS) 及び国際スキー連盟の推奨とガイドラインに従い、プレス・メディアサービスが組織されかつ実施されなければならない。

- 8.3 TDは、COCJ-L大会をコントロールし、レポートする責任がある。結果表を含めFISオフィスに文書でレポートを大会地から急送しなければならない。

- 8.4 各COCJ-L オーガナイザーは、大会終了後直ちに、結果表をFISオフィスと次のCOCJ-L開催オーガナイザーに電子メール又はファックスで送る義務がある。

- 8.5 各COCJ-L大会終了後、COCJ-Lコーディネーターは、COCJ-L総合評価の新しい順位表を計算する責任があり、競技終了後直ちに、それを次のCOCJ-Lオーガナイザー及びFISオフィスに送らなければならない。

8.6 コントロール

FISはCOCJ-Lコーディネーター一名を指名し、その者は、ジャンプのTDライセンスを所有していなければならない (ICR403.5条)。

コーディネーターはジャンプレースディレクターに報告する。

各オーガナイザーは、COCJ-Lコーディネーターの宿泊、食事代、旅費を支払わなければならない。

賞金 - 1,500 スイスフラン 上位6名で配分
